

ばあばの会を中心に、 会員同士の支え合い

沖縄県 うるま市老人クラブ連合会具志川支部

支部女性部・ばあばの会は、おばあちゃんたちで友愛活動を行いたいと約30年前に発足。友愛・見守り活動に取り組み、誰もが安心して暮らせる地域づくりに貢献しようと32名で活動しています。

会では、小学校新1年生の交通事故防止を願い、帽子の形をした

手作りの交通安全お守り

を贈呈しています。3か月かけて作つたお守り

を、支部内9小学校（約910名）へ贈り、子

どもたちの大きな声でのお礼の言葉と笑顔が、いつまでも心に残ります。

また、90歳以上在宅高齢者 85～89歳の一人暮らし及び老々介護世帯の計

360名ほどを友愛訪問しています。単位クラブ役員とばあばの会が担当します。

支部主催で10年目になる「長寿学園」（学習講座）



介護老人保健施設を訪問

の中には、ケアボランティア講座があります。介護老人保健施設を訪問して歌と踊りを披露した時は、満面の笑顔と拍手をいただき、和やかな雰囲気に包まれました。

支部内では他にも支え合いが行なわれています。野菜収穫時のユイメール（手伝い合うこと）では、

マール（草むしり訪問）は、単位クラブ組で10軒ほど伺い、「また生えてきたね」と一緒に草むしりをします。「鉢植え訪問」は毎年4月、一人暮らしの方をお花の小さな鉢植えをもつて訪問しています。

家庭菜園のオクラ・ホウレン草などの収穫を手伝えます。「ゆんたくパトロール」は、3～4名の会員で一人暮らし等の会員宅へゆんたく（おしゃべり）訪問をします。

「草むしり訪問」は、単位クラブ役員やばあばの会を中心に2名1組で10軒ほど伺い、「また生えてきたね」と一緒に草むしりをします。「鉢植え訪問」は毎年4月、一人暮らしの方をお花の小さな鉢植えをもつて訪問しています。

（女性部長 糸洲スエ子）